

## 【第271回化学コロキウム】

題目： $\lambda$ 型有機伝導体に対する相図からのアプローチ

講師：河本 充司（北海道大学大学院理学研究院 物性物理学専攻教授）

日時：平成29年1月18日（水）15:00－16:30

場所：8号館309号教室

概要： $\lambda$ -(BETS)<sub>2</sub>Xに代表される有機伝導体は $\lambda$ -(BETS)<sub>2</sub>GaCl<sub>4</sub>のFFLO超伝導の可能性や $\lambda$ -(BETS)<sub>2</sub>FeCl<sub>4</sub>の磁場誘起超伝導というエキゾチックな物性により多くの研究がなされてきた。しかし、(TMTCF)<sub>2</sub>Xや $\kappa$ -(BEDT-TTF)<sub>2</sub>X塩と異なりその物性発現のメカニズム解明の情報を与える相図の詳細が明らかでなかった。近年を我々はドナー分子置換と圧力測定を組み合わせることによって $\lambda$ 型塩の超伝導相に反強磁性揺らぎが存在する絶縁相が隣接することを明らかにした。セミナーでは、最近の物質置換と圧力測定を組み合わせた $\lambda$ 型有機伝導体の系統的な研究について紹介したい。

奮ってご参加下さい。

問合せ先：菊地耕一（内線3453, e-mail: kikuchi-koichi@tmu.ac.jp）